

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 令和5年 7月 25日～令和5年 11月 30日 環境省 11/30 報告

活動名	天霧山・二反地川・瀬戸内海・弘田川・さぬき富士・五岳山ビューポイント創出活動	
活動団体名	舟岡山未来プロジェクト活動組織(環境保全隊、子育て隊、舟岡山・弘田川ラグーン研究会)	
活動目的	・ 50年前の舟岡山頂上(香川県仲多度郡多度津町)からの360度パノラマを取り戻すこと。 ・ 生物多様性に果たす里山の二次的な自然環境の役割を考え、里山の手入れを継承するシステムを考える。関係人口を増やす。活動組織の保全技術を高揚する。 ・ 登頂しやすい、陽のさす明るい森にし、こどもたちの森林体験の場の創出。	
活動内容	・ 舟岡山の地主個人の下草刈&活動組織+応援者による集団活動は月1～2回の割で継続中。 ・ 巣箱の組み立て、色塗りを地域のこどもたちに体験してもらい、環境保全のことを考える催しを、活動ベース基地の未来邸にて実施しました。(150名:園児・小学生・高校生・教員) ・ 竹秘密基地づくりのイベントにて自然保護のことをパパさん、ママさんと考えていただきました。つたブランコ・竹シーソー・竹ぽっくり・弓の工作により竹材を丁寧に余すことなく活用しました。定員20名のところ100名の応募 →48名の受け入れとしました。 ・ 舟岡山内の新区域での活動準備としての作業道をつくる準備に入りました。 ・ これまでの活動の紹介として、(一社)実践教育訓練学会ジャーナルに寄稿しました。	
活動写真		
写真説明	巣箱作りを通じての身近の舟岡山の自然保護	竹秘密基地づくり & 自然体験活動 48名
活動効果	・ 低密度居住地域の今後のことを考えたり将来のありたい姿を地元として考えるため、地元の自治会から、活動報告を知らせてほしい・勉強会を開催してほしいとの要望が出ています。 ・ 海外からの技能実習生が舟岡山保全活動日にお手伝いしてくださっています。 ・ 舟岡山に登頂する親子の方々、イベントと関係なく遊ばれる親子の方々が表れ始めました。	
今後の展望	①環境保全隊にて、小さな荒廃した山の環境保全中(道づくりから)、継続 ②舟岡山・弘田川ラグーン研究会にて、この地の森・川・海のつながりを古代の歴史と関連付けて、道案内看板設置の準備中。(調査したふる里歴史は共有の情報として公開します。) 川・海域での活動されている団体との連携を模索します。(カヤック隊の協働により次年度は、近郊の川の簡易水質検査をしつつの川探検を予定しています。) ③鳥の巣箱の設置、古桜の伐採・更新としてヤマザクラの苗木を植栽していただき、自然に触れ、頂上の一部域の眺望からふるさと・田舎を感じてもらいたいと思います。 ④低密度居住地域への移住・定住策を基礎自治体の方々・企業と意見交換して参ります。	